

## 明治安田生命 災害対策用安否確認システムを導入

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 松尾 憲治）は、災害発生時に従業員の安否確認等を行ない、いち早く業務復旧体制を構築するために、携帯電話のメール受発信機能およびインターネット機能を利用した安否確認システムを導入しました。現在、テスト運用を行なっており、2007年5月上旬より本格展開する予定です。

この安否確認システムは、株式会社NTTドコモが開発、災害時でも通信しやすいパケット通信網を利用しており、従業員の携帯電話へ安否確認メールを一斉に配信します。メッセージ受信者は、受信したメッセージからインターネットへ接続して安否情報を登録します。また、災害対策拠点において登録状況の集計を行なう管理機能など、一連の安否確認業務を迅速に行なうことができます。

安否確認システムでは、当社の従業員約4万人（関連会社社員等を含めると約4万8,500人）を対象とし、被災地域も首都圏大地震、東海・東南海・南海大地震のほか各種局地災害（台風・風水害等）発生も想定した全国区での運用を可能としています。

また、携帯電話未所持者や災害時における携帯電話の破損等を考え、電話回線を利用した音声応答システムを安否確認システムの補完機能として稼働、安否情報の回答率向上を図っています。

### <災害対策用安否確認システムの概要>

項 目	内 容
対 象 者	明治安田生命の職員・営業職員・嘱託等・契約社員・派遣職員の約4万人（関連会社社員等を含めると約4万8,500人）
対象地域等	日本国内全地域での災害を対象
活用機能	携帯電話のインターネット機能を活用（個人使用の携帯電話を利用）
設計仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社NTTドコモの緊急連絡システムをベースに設計</li> <li>・補完通信手段として、「音声応答」にも対応可能とした</li> </ul>
安否確認内容	携帯電話の画面での入力方式 （入力項目…本人安否、家族安否、家屋の損壊、出社可否、自宅での居住可否、災害時出社場所、必要物資、連絡事項） ※「音声応答」では、音声ガイドに基づき入力
管理者対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当社組織を都道府県別にデータ管理、地域災害にも迅速な対応が可能</li> <li>・事前指名された従業員（災害対策要員）が管理者となり、災害時には当システムの稼働作業を実施する</li> </ul>
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人メールアドレスは各自が事前に登録し、管理者側では管理不要</li> <li>・メインサーバを、システムバックアップセンターに設置</li> </ul>

以 上